

体験

学び

自然

観光

共創

文化

連携

農業

知恵

発信

創造

集う

and
more!

縄文のストーリー

× 子どもたちの体験

× 地球共創に向けて

Presented by JOMON LABO

一般社団法人 縄文研究舎
株式会社 JOMONラボ

1.イントロダクション



縄文・火焰型土器

一般社団法人縄文研究舎と株式会社JOMONラボは、国宝である縄文・火焰型土器の出土遺跡「笹山遺跡」（新潟県十日町市中条、JR魚沼中条駅から徒歩10分程度）から直線で100メートルの土地に、縄文土器からインスピレーションを受けた陶芸のアトリエを開設予定です。

このアトリエは、様々な創作活動の場であると同時に、地域の誇りとしての縄文文化の知識を多くの住民・観光客に伝える、地域活性化・地域創生の場としての活用も見込んでいます。

また、社会貢献活動として、「縄文人の知恵は現代の課題解決の緒となる」という考古学者・小林達雄先生の言葉を元に、「自然との共生」「持続性のある社会」を共に育てるプロジェクトを開始しました。

「おおきな木プロジェクト」として、「体験は子どもの資質・能力の育成つながる」を目標に、児童養護施設の子どもたちの十日町の自然・農業・アート体験キャンプ、各地の児童養護施設での読書体験会を行なっています。

これらのプロジェクトには、インターンシップ大学生が参加し、地域理解、情報発信を行い、地域間交流につなげる目的です。

地域の魅力創造×子どもの成長を支える×地域間交流の3つの展開を進めていきます。

2.プロジェクトにおける3つの要素



文化・地域魅力
の創造事業

縄文文化の魅力を再編集

縄文文化研究の第一人者で、新潟県長岡市出身、新潟県立歴史博物館名誉館長の小林達雄先生のご協力を得て、様々な形での縄文文化の発信を企画。長岡市、十日町市、津南町の縄文関連施設との連携もしながら、陶芸アトリエとともに、地域の方々に地域の誇りを創造し、観光誘客にも繋がります。

十日町市と埼玉県新座市は、姉妹都市関係です。新座市には3つの大学のキャンパス（立教大学、跡見学園女子大学、十文字学園女子大学）があり、その大学から児童養護施設の体験キャンプのインターンシップ学生を招き、地域間交流と、観光資源開発、情報発信を企画しています。令和7年度・夏に児童養護施設の子どもたちを対象に開催したキャンプには、立教大学総長室地域連携課の募集による立教大学のインターンシップ学生が参加しました。私たちは、姉妹都市連携、地域間交流こそ、地域活性化、地域創生の強力な一手と捉え、各教育機関と研究しレポート、モデルプランをまとめ、他地域での活用を目標とします。



新潟県十日町市

国宝“縄文火焰型土器”の出土地
笹山遺跡に建築中の
陶芸アトリエ
を核として

子ども体験の
共創事業

陶芸アトリエにおいて縄文土器からインスピレーションを受けた陶芸教室を一般にも開催しながら、児童養護施設の子どもたちの体験による成長と自立のための自然・農業・アートキャンプ、読書会の実施。実証実験後、一般の子どもへのツアー販売を目標とします。

姉妹都市連携・
地域間交流
共創事業



地域大学のインターンシップ
活用などモデルプラン作成

子どもの体験による成長、
自立プログラム運営・開発

3. 私たちの“楽しくアクション”→“豊かな未来へ”の活動

令和6年度

子ども体験の
共創事業

児童養護施設の子どもたちへの読書会

児童養護施設出身の山本昌子氏、西坂來人氏を招いた読書会を、板橋区と杉並区の2施設で開催。子どもたちに本を読む喜びを伝え、自分の想いを伝える会になりました。

(独立行政法人国立青少年教育振興機構「令和6年度 子どもゆめ基金・読書会事業」)



令和7年度

文化・地域魅力
の創造事業

縄文文化の世界発信を目指して

長岡市、津南町、十日町市での外国人ライターさんの取材、解説文作成。媒体化を企画中。

(観光庁「令和7年度 地域観光資源の多言語解説整備事業」)

子ども体験の
共創事業

児童養護施設の子どもたちの体験キャンプ・夏

板橋区の児童養護施設の子どもたち22名と施設のスタッフ16名で、新潟県十日町市で2泊3日の自然・農業・アート体験キャンプを実施しました。都会では出来ない里山の自然体験の数々に、子どもたちの笑い声が響き渡りました。この児童養護施設は、本園と4つのグループホームで運営されていますが、普段交流のない児童や施設職員の交流の機会となりました。

(独立行政法人国立青少年教育振興機構「令和7年度 子どもゆめ基金・体験事業」)



3. 私たちの“楽しくアクション”→“豊かな未来へ”の活動

令和7年度

子ども体験の
共創事業

児童養護施設の子どもたちの体験キャンプ・冬 (2回)

夏のキャンプを過ごした子どもたちと、豪雪地帯で知られる新潟県十日町市の冬を体験します。厳しく美しい自然を体験しながら、スキーや雪合戦、雪だるま作りのような楽しいイベントたっぷりの予定です。
(独立行政法人国立青少年教育振興機構「令和7年度 子どもゆめ基金・体験事業」採択)
→地域間交流として、立教大学総長室社会連携課よりインターンシップ学生が参加しました。

子ども体験の
共創事業

児童養護施設の子どもたちへの読書会 (3回)

支援の手の届きにくい地方部の児童養護施設への活動を開始します。都内のほか、神奈川、沖縄の児童養護施設や児童施設での読書会を予定しています。
(独立行政法人国立青少年教育振興機構「令和7年度 子どもゆめ基金・読書会事業」採択)

文化・地域魅力
の創造事業

子どものための縄文文化アプリ

縄文研究の第一人者・小林達雄先生の監修、「デザインあ」の総合監修をつとめるデザイナー佐藤卓氏のデザインによる、子どもたちが縄文文化の魅力を体験的に知ることができるアプリです。GPSマップや、GPSのコンパスなどにより、縄文遺跡を巡れる機能なども満載です。
(独立行政法人国立青少年教育振興機構「令和7年度 子どもゆめ基金・教材事業」採択)

2025年9月より、児童養護施設出身で退所者支援「ACHAプロジェクト」を続けてきた山本昌子氏が一般社団法人縄文研究舎の理事の一員に加わり、「おおきな木プロジェクト」がさらに発展していきます。

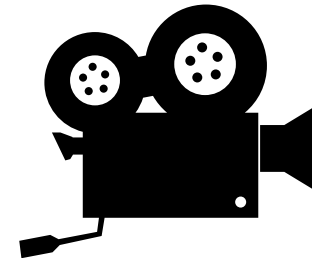
3. 私たちの“楽しくアクション”→“豊かな未来へ”の活動

令和8年度
以降

子ども体験の
共創事業

児童養護施設の子どもたちへの読書会→回数拡大へ
児童養護施設の子どもたちの体験キャンプ→回数拡大へ
(独立行政法人国立青少年教育振興機構「令和8年度 子どもゆめ基金・体験事業」)

さらに現在、



映画制作準備中!

縄文の力

縄文研究の第一人者・小林達雄先生の生前のインタビューから、小林達雄先生のレガシーともいえるべき、縄文文化の基礎的な考え方から、世界に類を見ない縄文土器の造形美までを描いたドキュメンタリー。

REALVOICE2

児童虐待をテーマにしたドキュメンタリー映画「REALVOICE」は、虐待を経験した若者たち70人の生の声に焦点を当てYouTube、各地での上映会により大きな反響を受けました。監督は、自身も児童養護施設で育った山本昌子氏。彼女が代表を務めるボランティア団体「ACHAプロジェクト」の活動を通じて出会った、虐待や貧困から生き抜いてきた全国各地の若者たちの「リアルな声」がフィルムに刻まれています。この「REALVOICE」の続編ともいえるべき映画「REALVOICE2」。本作では児童養護施設職員のインタビューをまとめ、職員と児童養護施設の子どもたちのリアルな暮らしを聞き出します。

3. 私たちの“楽しくアクション”→“豊かな未来へ”の活動

子どもたちの自然・農業・アート体験の充実を目指し、
一般社団法人縄文研究舎の管理する農園も新潟県十日町市にオープン予定
陶芸アトリエもオープンします



今後の夢は…



現代の課題解決の緒なる「縄文文化」の
[持続的な社会][自然との共生][豊かな芸術性]を学び、
社会問題を解決する「子どもの成長を育成する体験」
を拡げます